

# Sports News

スポーツニュース

## 町出身選手らの活躍

### 山田町の男女が優勝

#### 日本マレットゴルフ大会

6月29日と30日に遠野市で第10回文部科学大臣賞日本マレットゴルフ選手権大会が開かれ、その中で男子の部では佐々木建彦さん(豊間根・68)が、女子の部では佐々木富美子さん(豊間根・65)が見事優勝しました。

マレットゴルフとは、ゴルフと同じルールで木づちを使って決められた打ち出し地点からボールを打ち、できるだけ少ない打数でホールへ入れることを競うスポーツ。老若男女問わず楽しめることから愛好者が増え、普及が積極

的に進められており、今大会には10都県より133人(男子88人、女子45人)が出場し、真剣な戦いが繰り広げられました。

この競技で優勝した2人が7月3日、役場を訪れ佐藤町長に大会の結果を報告。マレットゴルフを始めてから6年で88人中の頂点に輝いた建彦さんは「町からの支援のおかげで競技を続けることができ、今回優勝することができた」と佐藤町長に感謝し、2位と10打以上の差をつけて優勝した富美子さんは「始めてから念願であった全国大会で優勝できたのはとてもうれしい。このような明るいニュースが復興につながってほしい」と強いまなざしで話していました。



7月3日に佐藤町長に優勝報告で訪れた佐々木建彦さん(左)と佐々木富美子さん(右)

また、マレットゴルフを始めてよかったことを伺うと建彦さんは「競技を始めてから毎日目標を持って過ごすことができている。また、競技を通してさまざまな人と交流し、自分の技術を高めていけるので面白い」と話し、富美子さんは「ゴルフを始めて10年になるが体は日々健康になっている」と元気な笑顔で答えてくれました。



試合途中相手を押さえ込む柔澤さん  
《日本レスリング協会提供》

### 柔澤謙さんが見事2連覇

#### 全日本レスリング大会

7月5日から6日にかけて埼玉県の和光市総合体育館で行われた第62回全日本社会人レスリング選手権大会。全国から11人が参加した74kg級フリースタイルにおいて田の浜出身の柔澤謙さん(自衛隊・23)が優勝し、見事2連覇を達成しました。

連覇のかかった今大会で全ての試合をストレート勝ちで優勝した柔澤さんは「優勝するのは当たり前の結果だと思って大会に臨んだ。優勝し

たことに驚きはなかった」と堂々と話していました。

今大会を「日々の練習には常に自分自身の課題と向き合い、課題の克服を意識しながら取り組んでいた。そういった積み重ねが今回の優勝につながっていると思う」と振り返る柔澤さん。

今後の目標は2016年のリオデジャネイロ・オリンピックに出場し優勝することだと声に自身をこめて話す柔澤さん。町民の皆さんへのメッセージを伺うと「震災から3年たち少しづつ復興も進んできていると思う。これからの一日も早い復興を目指し一緒にがんばっていきましよう」と力強く話してくれました。



メダルと賞状を見せる柔澤さん(中央)  
《日本レスリング協会提供》



## 近藤瑞樹君が県の頂点に

### 小学校陸上競技選手県大会

6月22日に行われた第30回全国小学生陸上競技交流大会（岩手県大会（県営運動公園・盛岡市）の走り高跳びで山田南小6年の近藤瑞樹君が2位と3位の差をつける1位40センチで優勝しました。

走り高跳びは、各地区予選を勝ち抜いてきた強豪21人で行われ、1位10センチの高さから競技がスタート。選手らは3センチずつ高くなっていくバーをはさみ跳びという跳び方で越えていきます。地区予選記録のランキングでは1位と1位の差をつける1位35センチで



7月1日に佐藤町長に優勝報告で訪れた近藤瑞樹君

2位だった近藤君は「大会プログラムを見たら、地区予選で自分より高く跳んだ選手の名前を見つけたので緊張した」と大会当日の心境を話します。地区大会から5センチも記録を更新し優勝した近藤君に今回の大会を振り返ってもらおうと「最初は緊張していたが競技中は徐々にリラックスしていった。自分を含めた上位2人の争いになったときは再び緊張したがそれでも自己ベストを更新して優勝できたのでうれしかった」と話します。

普段はスポーツ少年団でバスケットボールの練習に励む近藤君に、次の全国大会での目標を伺うと「前回の全国大会の優勝者の記録は1位55センチ。これから本格的な練習をして記録を伸ばしていきたい、ベスト3に入れるようにがんばりたい」と熱い闘志と向上心を見せてくれました。

なお、近藤君は8月23日に神奈川県の日産スタジアムで開かれる第30回全国小学生陸上競技交流大会に出場します。

## 山田中柔道部が大健闘

### 県中学柔道体重別選手権

盛岡市の県営武道館で7月6日に岩手県中学柔道体重別選手権が行われ、山田中柔道部の3人が活躍し、入賞を果たしました。

#### ◎女子52キ級

女子52キ級で優勝に輝いたのは3年生の木下葵さん。木下さんは「去年の大会では決勝戦で負けてしまったので、今回の優勝はうれしい」と笑顔で話しました。今回の試合を「普段の練習には試合の組み立てを考えたながら取り組んでいた。今回はそれが活かされた」と振り返る葵さん。次の目標について伺うと「今後の県の大会でも自分の柔道をして、一本勝ちで好成績を残したい」と力強く答えてくれました。

#### ◎女子63キ級

女子63キ級で3位入賞の活躍を見せたのは甲斐谷こころさん（3年）。普段の練習では声を出してみんなを引っ張りがんばっている山田中柔道部のムードメーカーのような存在です。

甲斐谷さんに今回の入賞について感想を伺うと「初めての入賞だったのでうれしかった」と笑顔で話しました。

#### ◎男子73キ級

男子73キ級で3位に入賞したのは富士悠太君（3年）。富士君は今回の大会について「入賞できたのは確かにうれしいが、やはり優勝したいという気持ちの方が強かった」と悔しさを見せます。普段の練習には技のつなげ方を考えながら取り組んでいると話す富士君は今後の目標について「次の大会にはリベンジする気持ちで臨み、優勝を目指す」と強く意気込みを語りました。



左から甲斐谷こころさん、木下葵さん、富士悠太君